

2024年3月20日(水)第三水曜祈祷会

マタイの福音書26章1～13節

「この人の記念として」

【前章までのあらすじ】 *24章は終末預言、25章は終末を待つ者の態度

1. 十人の娘のたとえ。目を覚まして終わりの時を待つべきである。
2. タラントのたとえ。私たちには豊かな賜物が与えられている。
3. 終わりの時の裁き。主に仕えるように、人に仕えることを教えられた。

【観察と黙想】

1. イエス殺害のたくらみ(26章1～5節) *いよいよ十字架の時が近づいていた。

①「これらのことば」とは、具体的に何を指していると思いますか。

→

②過越の祭りが二日後に迫ったイエスさまは、どんな心境だったでしょう。

→

③祭司長たちや長老たちは大祭司カヤパの邸宅に集まって何をしていましたか。

→

2. イエスに香油を注ぐ(26章6～9節) *ベタニアは心休まる場所だったと思われる。

①「非常に高価な香油」は、彼女にとってどんなものだったのでしょうか。

→

②「イエスの頭に香油を注ぐ」という行為は、どんな意味がありましたか。

→

③弟子たちは、彼女の行為を見て、どうして憤慨したのですか。

→

3. イエスさまからの賞賛(26章10～13節) *イエスさまにとって最も慰められるときだった

①イエスさまはどのように彼女の行動を賞賛されたのですか。

→

②「貧しい人々はいつもあなたがたと一緒にいます」とは、どういうことですか。

→

③彼女はこのとき、どうしてイエスさまに香油を注ごうと思ったのでしょうか。

→

【適用と分かち合い】

①祭司長たちや長老たちはどうしてイエスさまを殺そうとしたのでしょうか。

②弟子たちはこのとき、何を考えていたのでしょうか。ルカ22章24～30節も参照。

③イエスさまは私たちに、どんな奉仕を献げることを望んでおられるのでしょうか。